

第1回由良地区堤防景観検討会を開催しました

～景観や利用に配慮した治水対策に関する意見交換～

由良川水系河川整備計画にて位置づけられている、宮津市由良地区の堤防整備あたっては宮津市から景観に配慮してほしいという意見があったこと、また、北前船の寄港地になっていたと考えられるなど景観に配慮した堤防整備を行う必要があることから、堤防整備の詳細検討に際し、河川工学や景観、利用等さまざまな視点からの意見をいただくことを目的とした「第1回由良地区堤防景観検討会」を開催しました。

本検討会では、由良地区の概要及び歴史などを共有した後、各委員の方々から、由良地区の堤防整備に関して景観や利用などの観点から活発な意見交換をしました。

概要

- 日時：平成30年11月26日（月）14：30～15：30
- 場所：由良の里センター 2階 会議室
- 出席委員：明石工業高等専門学校 教授 神田委員（座長）
 京都市立芸術大学 教授 藤本英子委員
 由良地区代表 藤本繁光委員
 由良地区代表 岡田委員
 北近畿タンゴ鉄道株式会社 施設統括本部長 秋山委員
 WILLER TRAINS株式会社 工務部長 橋委員
 京都府丹後土木事務所長 吉岡委員
 宮津市 小牧委員代理（宮津市 建設部長 山根委員）
- 事務局：福知山河川国道事務所



◆由良川上流から望む宮津市由良地区



■由良地区の概要

由良地区は由良川左岸の河口部に位置し、過去には北前船の寄港地として利用されていた由良港が存在したとされている。地元で産出された由良石が地域で使用され、また、由良川橋梁より望む景観もみどころとなっています。

◆塀として利用されている由良石



◆北前船の寄港地として利用されていた由良港



◆現状の由良港（推測）



◆第1回 由良地区堤防景観検討会の様子



委員からの主な発言内容

◆由良石・由良港・北前船

- ・由良港についていつ頃まで使われていたのか、あるいは現状残っている船着き場と港がどう対応しているのかを知りたい。
- ・由良石を堤防に活用するなど地域の素材を堤防に活用することで、地元らしい個性ある護岸ができる可能性がある。

◆景観検討箇所の利用状況

- ・景観検討箇所における大正～現在までの水辺の利活用方法について教えてほしい。

◆視点場整備のポイント

- ・鉄橋の景観は素晴らしいため、由良川橋梁周辺でも堤防内から鉄道橋を眺められる高い視点場を整備、堤防外には親水性の高い視点場を作る必要がある。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 調査課

〒620-0875 福知山市字堀小字今岡2459-14 TEL 0773-22-5104（代表）

